

日刊 勤労千葉

87. 10. 3
No. 2669

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！

第5回ゴルフ大会開催

（かずさカントリークラブ）

睦千葉転A、個人越川君（千葉優勝） 大木君（津沼ホールインワン）を達成！

サークル協主催第五回ゴルフ大会は、九月三〇日、かずさカントリークラブにおいて、各支部から四七名が参加して熱戦を展開した。

自慢の腕を競い合う

九時、時おり小雨がぱらつく悪コンディションの中、各チームが次々とスタートし、自慢の腕を競い合ったが、津田沼支部・大木繁喜君がホールインワン達成など話題の多い大会となった。

ゲームは千葉転支部が圧倒的強さで団体戦、個人戦優勝をものにした。

十七時から閉会式にうつり、各賞が手渡され、次回の健闘を誓って解散した。



優勝の記念品を手にしてよろこぶの千葉転支部・越川君



ホールインワンを達成した津田沼の大木君成績は、次のとおり。

団体戦		優勝	千葉転支部A（嶋田・戸田・越川）
準優勝		勝 浦支部	（屋代・元吉・江沢）
第三位		千葉転支部D	（佐久間・朝倉・植草）
個人戦			
優勝	越川 光雄	（千葉転支部）	
第二位	植草 義則	（"）	
第三位	江沢 利一	（勝 浦支部）	
第四位	元吉欽一郎	（勝浦支部OB）	
第五位	渡辺 勲夫	（新小岩支部）	
第六位	早船静四郎	（銚子支部）	

関川前委員長を追悼する 勤労千葉幕張支部

関川前委員長が逝去され早いものでもう一ヶ月が過ぎました。しかし、関川さんへの哀悼の念は深まりこそすれ決して薄れるものではありません。

関川さんを想うとき、今でも鮮明かつ強烈に想い出すのが一九七三年の勝浦大会の模様です。動労革マルの千葉地本破壊攻撃が襲う中、それとの対決をめぐって千葉地本は、本当に生みの苦しみを味わっているような状況でした。五回の臨時大会のあと勝浦大会では議論も成らず執行部が総辞職してしまい、時間切れで

旅館からも出されてしまい、全員が浜辺へ……。沈黙と静寂に追いつけをかけるように秋の潮騒が全員の胸をしめつける。こうした困難と土壇場の中で関川さんが意を決して委員長をひき受けられ闘う新執行体制が形成されたのです。

以来十年、「関川・中野」体制のもと、革マルの執ような敵対と破壊、白色テロ攻撃に敢然と立ちむかひながら三里塚、労農連帯の旗のもと、激しい嵐の中で私達組合員を牽引して下さいました。分割・民営化攻撃のさかまく中にあつ

ても勤労千葉が労働組合の原則に立脚し、労働者としての大道を歩むことが出来たのも関川さんを信頼し全組合員が一致団結して闘ってきたからだといつて過言ではないとおもいます。

私達は、故関川前委員長の遺志をしっかり受け継ぎ、被解雇者、清算事業団の仲間、新会社内の組合員が心を一つにして、労働者階級の解放にむかって断固として前進することをここに誓うものです。関川さん、いつまでも私達を見守って下さい。